

第 32 回報農会シンポジウム

『植物保護ハイビジョン—2017』のご案内
—— 加速するグローバル化に対応する IPM の進展 ——

趣 旨: グローバル化の加速が国外農産物の貿易圧力や病虫害の侵入・定着リスクの上昇を招いている。一方で、不安定さを増す国際情勢や拡大する気候変動からは食料自給率の向上・確保の必要性が高まっている。国際競争力を高めながら持続可能な農業を堅持するには、生産コストの削減と生産物の高品質・高付加価値化が不可欠であろう。植物保護分野ではこの難問解決にあたって、IPM を「絵に描いた餅」から「生産現場の切り札」に展開すべく努力が続けられている。

主 催: 公益財団法人 報 農 会

協 賛: 日本応用動物昆虫学会、日本植物病理学会、日本農薬学会、日本雑草学会

日 時: 平成 29 年 9 月 13 日 (水) 10:00~17:00

場 所: 「北とぴあ」つつじホール (東京都北区王子 1-11-1)

TEL 03-5390-1100 (会場への連絡は出来ません)

JR 京浜東北線・地下鉄南北線: 王子駅下車、北口改札より徒歩 3 分

開 会: 10:00~10:15	挨拶	理事長	田付 貞洋
講 演: 10:15~11:05	農薬登録の国際調和	農林水産省 農薬対策室	古畑 徹
11:05~11:55	海外での病虫害発生と生物農薬の使用・IPM の現場について	三井物産 (株) アグリサイエンス事業部	平田 秀嗣
11:55~13:00	昼食・休憩		
13:00~13:50	侵入害虫クビアカツヤカミキリの被害状況と防除対策	森林研究・整備機構 森林総合研究所	加賀谷悦子
13:50~14:40	アミノ酸による作物の病害抵抗性誘導	農研機構 生物機能利用研究部門	瀬尾 茂美
14:50~15:40	<i>Bacillus</i> 属等微生物を用いた病害防除とその展望	農研機構 中央農業研究センター	吉田 重信
15:45~16:45	総合討論		

参加費: 一般 2,000 円 学生 事前申込み無料、当日 1,000 円

申込み: 参加をご希望の方は、9 月 6 日までに下記連絡先まで E メールまたは FAX で所属・連絡先と氏名をお知らせ下さい。当日、参加費と引き換えにテキストをお渡し致します。なお、当日の参加も可能です。

連絡先: 公益財団法人 報 農 会

事務局 藤田 肖子、渡邊 敦子

〒187-0003 東京都小平市花小金井南町 1-12-11

BLOSSOM みさと

TEL/FAX 042-452-7773

E-mail: khono511@car.ocn.ne.jp

